

一般質問通告一覧表

日付	発言者順序 【質問方式】	発言の要旨
平成 30年 12月 5日 (水)	1 竹内 ひろみ 【一問一答】	1 バリアフリー基本構想の策定について 2 小中学校のいじめ問題について
	2 下村 晴意 【一問一答】	1 子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画について
	3 成田 智樹 【一問一答】	1 肝炎対策について 2 スマート自治体への転換について
	4 恵比須 幹夫 【一問一答】	1 保育所入所選考基準について
6日 (木)	5 改正 大祐 【一問一答】	1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組について
	6 樋口 清士 【一問一答】	1 財政運営について
	7 沢田 かおる 【一問一答】	1 いこま寿大学について 2 老老介護に対する取組について
	8 中浦 新悟 【一問一答】	1 公共施設の電力調達といこま市民パワー（株）事業について
	9 浜田 佳資 【一問一答】	1 ごみ削減の総括と展望について 2 学校の部活動指導における改善の取組について
7日 (金)	10 伊木 まり子 【一問一答】	1 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を念頭に置いた施策について 2 市民主体のまちづくりについて

平成30年11月26日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員

竹内ひろみ



発言通告書

次のとおり通告します。

平成30年11月26日
午前9時2分受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	バリアフリー基本構想の策定について
2	小中学校のいじめ問題について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	バリアフリー基本構想の策定について
1. 質疑・質問の要旨	
<p>高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）が施行されて以来、基本構想を策定する自治体が年々増え、平成29年3月末時点で、294自治体に上っています。奈良県では、同時点で5市1町でしたが、その後3市町（桜井市、斑鳩町、上牧町）増えていることを、奈良県担当課で確認しています。地域の面的・一体的なバリアフリー化推進のためには、基本構想の策定が不可欠であることをこの状況は示していると思われます。</p> <p>市は、基本構想の策定について、昨年8月25日付議会への報告で、「今後他市の策定内容、及び鉄道駅のバリアフリー化の進捗などを踏まえて検討していく」とされ、また12月議会での私の一般質問に対する答弁で、「生駒線各駅のバリアフリー化の進捗状況など、今後の動きを見ながら道路計画等周辺も含めたバリアフリー基本構想の必要性について検討したい」といわれています。他市の策定状況、生駒線各駅のバリアフリー化も一定目途が立った現在の状況の下で、基本構想の策定についての市の方針はどうなっていますか？</p>	

番号	質疑 ・ 質問事項
2	小中学校のいじめ問題について
1. 質疑・質問の要旨	
<p>10月25日、文部科学省は全国の小中学校の「問題行動・不登校調査」の結果を報告しました。それによると、平成29年度に認知した「いじめ」の件数が、前年度比9万1235件増の41万4378件（児童生徒1000人当たり30.9件）で、過去最多を更新、特に、小学校の低学年での増加傾向が顕著だったとのこと。</p> <p>文科省は平成29年、いじめ防止の基本的方針を改定。けんかやふざけ合いでも調査し、被害性に着目していじめか否かを判断するよう通知しました。</p> <p>認知件数は、小学校が7万9865件増の31万7121件、中学校が9115件増の8万424件で、小学校1-4年で各1万4000件以上増えました。</p> <p>いじめの内容（複数回答）では、「冷やかしゃからかい、悪口」が62.3%を占め、最も高くなりました。「軽くぶつかられたり遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」が21.0%。インターネット交流サイト（SNS）を含む「パソコンや携帯電話などでの誹謗中傷」は3.0%の1万2632件で過去最多となりました。</p> <p>小中高校での児童生徒の自殺は250人、前年度から5人増。このうちいじめが要因とされたのは10人でした。</p> <p>平成29年2月に策定された「生駒市いじめ防止基本方針」では、基本理念を、「いじめを受けた児童生徒の心身保護に優先的に取り組むばかりでなく、いじめが行われていた環境にいた児童生徒が何らかの形で精神的被害を受けているという認識を持ち、市、学校、地域、家庭、関係機関等の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行う」としています。</p> <p>また、基本的な考え方として、「①いじめの防止、②いじめの早期発見、③いじめへの対処、④地域社会・家庭との連携、⑤関係機関との連携」を掲げています。</p> <p>いじめは、それが原因で不登校になったり、最悪の場合自殺まで引き起こすなど、子どもの一生を左右する重大な問題であることはいうまでもありません。いじめの実態をしっかりと把握し、原因の究明と予防によっていじめが起らない環境づくりと、早期発見と丁寧な対応によって、重大事態への発展を防ぐことが求められます。</p> <p>そこで、以下の質問をします。</p>	

1. 市の平成29年度の調査結果をどのように分析していますか？
2. 基本方針にそって、次の取組はどのようにされていますか？
 - ① いじめの防止
 - ② いじめの早期発見
 - ③ いじめへの対処
 - ④ 地域社会・家庭との連携
 - ⑤ 関係機関との連携
3. 現在の問題、課題はどのように考えていますか？
4. 今後、どういう点を重視して取り組んでいく方針ですか？

平成30年11月26日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員

下村 晴意



発言通告書

次のとおり通告します。

平成30年11月26日
午後2時55分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画について
質疑・質問の要旨	
<p>子どもは、読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。また、文学作品に加え、自然科学・社会科学関係の書籍や新聞、図鑑等の資料を読み深めることを通じて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探求心や心理を求める態度が養われていきます。</p> <p>本年4月には、子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、第4次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を閣議決定されました。</p> <p>これは、政府がおおむね5年ごとに策定するもので、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的方針を示すものです。</p> <p>基本方針では、子どもの読書活動に関する課題、課題の分析と取組の方向性を示しています。具体的方針では、子どもの読書活動の推進体制として、市町村の役割、都道府県の役割、国の役割を示しています。</p> <p>子どもの読書活動の推進方策として、発達段階に応じた取組、家庭における取組、地域における取組、学校における取組、子どもの読書への関心を高める取組などを示しています。</p> <p>本市としては、「子ども読書活動推進計画」を策定し、学校、図書館、民間団体、家庭等の連携・協力を図り、取組をされてきたと認識しておりますが、この第次計画に基づき、推進計画の見直しが必要だと考えます。</p> <p>以上を踏まえ質問致します。</p> <p>1、本市の推進計画では、「伝えよう、どきどき わくわくを！」を合言葉に読書活動を推進されておりますが、家庭・地域・学校での具体的な取組についてお聞かせください。</p> <p>2、これまでの「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」で示されている市町村の役割について、本市の役割は達成されておりますでしょうか。お聞かせください。</p>	

3、第4次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」における、子供の読書活動の推進方策に関し、発達段階に応じた取組、家庭における取組、地域における取組、学校等における取組について、本市の今後の課題をお聞かせください。

4、子供の読書への関心を高める取組について、市として今後どのように取り組まれていきますか。考えをお聞かせください。

5、『子ども読書のまち・いこま』宣言、生駒市子ども読書活動の推進条例など策定すべきと考えますが、いかがでしょうか？

平成30年11月26日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

成田 智樹



発言通告書

次のとおり通告します。

平成30年11月26日
午後4時3分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> ・ 一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u> ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	肝炎対策について
2	スマート自治体への転換について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	肝炎対策について
質疑・質問の要旨	
<p>平成28年6月に改正された国の『肝炎対策の推進に関する基本的な指針』では、「肝炎（B型肝炎及びC型肝炎をいう。以下同じ。）は、適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行するおそれがある。このため、肝炎患者等が生活する中で関わる全ての者が肝炎に対する理解を深め、これらの者の協力の下、肝炎患者等が安心して生活できる環境づくりに取り組むことが必要である。したがって、国は、地方公共団体、医療関係者等と連携し、肝炎ウイルス検査の受検促進、検査結果が陽性である者のフォローアップや肝炎患者等の早期かつ適切な肝炎医療の受診の促進等の肝炎総合対策を推進することにより、肝硬変又は肝がんへの移行者を減らすことを目標とし、肝がんのり患率をできるだけ減少させることを指標として設定する。</p> <p>また、肝炎対策は、肝炎患者等を含めた国民の視点に立ち、国民の理解及び協力を得て、肝炎患者等を含む関係者が一体となって、連携して対策を進めることが重要である。</p> <p>なお、国及び地方公共団体が肝炎対策を実施するに当たっては、その目標、具体的な指標等を設定し、定期的にその達成状況を把握し、必要に応じて施策の見直しを検討することが重要である。」と述べています。</p> <p>以上をふまえ、本市の肝炎対策について以下のとおり質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 肝炎ウイルス検診の受診状況及びそれについての評価を問う。 2 肝炎ウイルス陽性者の早期発見及び重症化予防のため、どのような取組を行っているのか。 	

質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

号	質疑 ・ 質問事項
2	スマート自治体への転換について
質疑・質問の要旨	
<p>わが国が本格的な人口減少と高齢化を迎えるなか、市民の暮らしと地域経済を守るためには、自治体が行政上の諸課題に的確に対応し、持続可能な形で、質の高い行政サービスを提供する必要があります。</p> <p>高齢者人口がピークを迎える2040年ごろの行政のあり方を検討してきた総務省の有識者会議「自治体戦略2040構想研究会」は本年7月に報告書（第二次）を公表しました。</p> <p>その報告書には労働力の大幅な減少をAI（人工知能）などの先端技術を駆使して事務の自動処理を進めること等で補い、役所の機能を維持する「スマート自治体」への転換の必要性が指摘されています。すでにAIを活用する自治体も現れるなか、本市においても、今後の労働力の厳しい供給制約を共通認識として、将来のみならず現在の住民と職員のために、可能な限り早期に業務のあり方を変革してゆく必要があると考え、以下のとおり質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 AIなどの活用についての取組（調査、研究等含む）は行っているのか。 2 住民からの問い合わせ対応、議事録の自動作成、保育所の入所選考及びごみ分別の案内等、本市の現状における作業状況からみても導入効果が高いと推測される事務について、先行自治体による活用事例が報告されている。所見を問う。 	

質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成 30 年 11 月 27 日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 殿

生駒市議会議員

恵比須 幹夫



発言通告書

次のとおり通告します。

平成 30 年 11 月 27 日
午後 1 時 4 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 (一括質問方式 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一問一答方式) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	保育所入所選考基準について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	保育所入所選考基準について
質疑・質問の要旨	
<p>(1) 保育所入所選考基準の内容に関する検討については、より透明性を確保し、広い知見を取り入れつつ継続的に改善を進めていくとの観点から、附属機関を設置することが望ましいと考えます。見解をお聞かせ下さい。</p> <p>(2) 現状の保育所入所選考基準において、「求職中」の基本指数は1と設定されています。経済的自立を支援していく意味から、求職の内容を精査した上で、必要に応じて指数の値を上げていくことが望ましいと考えます。見解をお聞かせ下さい。</p> <p>(3) 「ひとり親家庭等かつ求職中」の場合、加算指数5と設定されています。「求職中」の基本指数の低さからして、加算してもなお、外勤で1カ月あたりの就労時間の長い方と比べ大きく点数が下回ってしまいます。さらなる「ひとり親家庭等」への実態に即した配慮が必要かと考えます。見解をお聞かせ下さい。</p> <p>(4) 「保護者が市内の認可保育所等で保育士または幼稚園教諭として勤務しているか、勤務予定である場合」は、加算指数が1で設定されています。これまでの保育士または幼稚園教諭の市内保育所の利用状況について、どのように分析・評価されているのか、見解をお聞かせ下さい。</p> <p>(5) 保育士の人材確保の観点から、加算指数をさらに手厚くするのも一つの方法かと認識します。他の自治体の事例も研究し、検討を加えてはどうかと考えます。見解をお聞かせ下さい。</p>	

平成 30 年 11 月 27 日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 様

生駒市議会議員

改正 大祐



発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成 30 年 11 月 27 日
午後 2 時 28 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>問一答方式</u>) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組について
質疑・質問の要旨	
<p>国は平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」を定めました。生駒市においても平成27年から平成31年の5年間を計画期間として「生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、総合戦略）を策定しました。基本目標を 1. 子育てしやすいまち 2. 母親が希望のしごとをできるまち 3. 子育て層（特に女性）が転入したいまちとし、基本目標に基づく施策をまとめました。そして「女性が活躍しながら、安心して2人目、3人目の子供を産み、育てられる先進的住宅都市・生駒」の実現を目指すまちの姿として取り組んでいます。これらを踏まえ総合戦略のこれまでの取組、そしてこれからの取組について質問致します。</p> <p>① 総合戦略の計画期間は平成31年までであるが、これまでどのように進行管理を行ってきたのか。またそれにより事業の見直しや計画変更を実施したことはあるのか。</p> <p>② 総合戦略を策定したことにより、市としてどのような成果があったと考えているのか。</p> <p>③ 総合戦略の基本目標の一つとして、子育てしやすいまちを掲げています。目標実現に向け、施策に関する基本的な方向を、子育て層の時間的なゆとりをつくることとし、具体的な施策として病児保育機能の強化を挙げているが、これまでの取組をどう評価しているのか</p> <p>④ 基本目標の一つとして子育て層（特に女性）が転入したいまちを掲げています。具体的な施策として生駒の認知度や都市ブランドを向上させるため、市内外にまちの魅力を発信しているが、本市の都市ブランドとはどういうものと考えているのか。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成30年11月27日

生駒市議会議長

中谷尚敬 殿

生駒市議会議員

樋口清士



発言通告書

次のとおり通告します。

平成 30 年 11 月 27 日
午後 2 時 32 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	財政運営について
2	
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	財政運営について
質疑・質問の要旨	
<p>実質収支は黒字が続き、現状において比較的健全な財政運営が行われているとは言え、平成 27 年度以降、単年度収支が 2 年連続赤字となった。平成 29 年度決算では約 2.2 億円の黒字となったものの、社会保障費が増大し、更新時期を迎えた公共施設の維持管理・改修経費の増加が確実視される中、財政状況の厳しさは増していくと予想される。</p> <p>例えば、生駒市人口ビジョンによれば老年人口は 2045 年まで増加することとなっており、社会保障費は増加幅を膨らませつつ積み上がっていくと考えられる。</p> <p>また、個人市民税と固定資産税が大きなウエイトを占め、法人市民税が個人市民税の 1 割にも満たないといった本市の税収構造を前提に考えれば、今後高齢化・人口減少が進み、大規模な住宅開発も期待できない中で大幅な税収増は困難である。</p> <p>地方交付税額も近年減少傾向にあり、消費税増税に伴う地方への追加的な財源の配分も期待されるが、未だ不透明な部分も多く、楽観視できる状況にはない。</p> <p>このような厳しい財政状況は行政においても認識されており、平成 30 年度の市長施政方針では「地域経済循環の促進や市税収入等の増加」、「事務事業全般について見直し・合理化、廃止を進める」、「学研高山地区第 2 工区をはじめ将来のまちの発展につながる投資を積極的に行う」といった対応方針が示された。</p> <p>また、平成 30 年 6 月定例会の一般質問の中でも、市単独事業の見直し、自己負担額の導入（市民負担の拡大）、国基準を上回っている事業の見直し、近隣他市との比較に基づく事業の見直し（補助金の見直しを含む）、ファシリティマネジメントの実施といった、今後 10 年間の取組方針が示されたところである。</p> <p>他方、事業の廃止等による歳出削減は不可避であるものの、行政サービスの水準を落とすにも限界がある。そのため、一定の行政サービス水準を維持しつつ健全な財政運営を持続的に行うためには、市民の役割と負担のあり方や税収構造の見直しを含めた歳出・歳入の構造を抜本的、かつ速やかに再構築することが必要と考える。</p> <p>そこで、財政運営の現状及び今後の取組について以下に質問する。</p> <p>①現在、どのような目標設定のもとに財政運営を行っているのか。</p> <p>②「地域経済循環の促進や市税収入等の増加」「事務事業全般について見直し・合理化、廃止の推進」「将来のまちの発展につながる投資の積極的実施」の 3 点について、現在の取組状況はどうなっているのか。また、今後の取組方針はどうか。</p>	

平成 30 年 11 月 27 日

生駒市議会議長

中 谷 尚 敬 様

生駒市議会議員

沢田 かおる



発 言 通 告 書

次のとおり通告します。

平成 30 年 11 月 27 日
午後 2 時 32 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u>) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	いこま寿大学について
2	老老介護に対する取組について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	いこま寿大学について
質疑・質問の要旨	
<p>「いこま寿大学とは62歳以上の人を対象に、生駒市が設置する4年制の学びと交流の場です。高齢者として、社会の変化に対応するため、自立心を養い、心身ともに健康で、生涯学ぶ意欲を持ち、地域社会の生涯学習推進者の資質を養うことを目的としています。激しく変化する社会での高齢者としての生き方の探求学習機会を通じて、多くの市民とのふれあいの場づくり地域社会での生涯学習のリーダーの養成友人づくりの場としても最適で、多くの人寿大学卒業後、OB会に入ったり、グループ等をつくって様々な活動をしています。」と生駒市ホームページに目的として記載されています。</p> <p>新入生募集は、毎年2月に行われており、2018年2月1日号広報いこまちによると 募集人数 281人（抽選制） 受講料 年間5,000円 学習内容4つの課程（1一般教養課程 2クラブ学習課程 3実務講習課程 4特別学習会）を受講し教養を高めると書かれています。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p> <p>① 対象者は、市内に住む62歳以上の人で、心身ともに健康で4年間を通して学習活動ができる人とされていますが、これまでの応募状況・運営状況も踏まえ、現状の対象者の基準について、どのように考えておられますでしょうか。</p> <p>② 参加者の年齢は62歳以上から何歳までを推定しておられ、実際の参加者の年齢層はどのようになっていますか。</p> <p>③ 卒業資格として、修業年限（4年）内に36単位以上取得すれば卒業できることになっていますが、直近で36単位以上所得し卒業された方の割合をお聞かせください。また、その割合について、どう評価していますか。</p> <p>④ より広く多くの人参加され、卒業されることが望ましいと考えます。入学後に車いすなどが必要となる方もおられると想定できますが、継続的に参加していただくための対応について、どう考えておられますか。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	老老介護に対する取組について
質疑・質問の要旨	
<p>平成29年11月3日に民生児童委員さんと生駒市議会と懇談会を行い、「支え合う 地域づくり、安心して暮らせる地域づくり」というテーマでご意見をお聞かせいただきました。お話の中で、おひとり暮らしの高齢者の訪問はするけど老老介護世帯が心配ですとお話しされておられました。老老介護は、介護をする方が倒れる、孤立する、相談せずに抱え込むなどの問題があり、高齢化が急速に進む本市においても大きな課題と考えられます。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p> <p>① 本市において老老介護世帯の状況をどのように把握しておられますか。</p> <p>② 老老介護世帯に対して、現状どのような取り組みをされていますか、また、市として、今後の対応の方向性もお聞かせください。</p>	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成30年11月27日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員 中浦新悟



発言通告書

次のとおり通告します。

平成30年11月27日
午後2時35分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	公共施設の電力調達といこま市民パワー(株)事業について

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	公共施設の電力調達といこま市民パワー(株)事業について
質疑・質問の要旨	
<p>平成29年12月以降、本市の公共施設の電力調達は、いこま市民パワー(株)との随意契約で進められている。</p> <p>電力調達については、平成29年度生駒市一般会計決算の認定についてに対する附帯意見で</p> <p>1 契約検査事務（電気の調達）</p> <p>いこま市民パワー株式会社と随意契約が取り交わされた電力調達に係る契約について、関西電力が公表する標準価格や電力卸売価格より下回ることで契約金額の妥当性が示されているものの、「市民パワーの料金が市場価格を上回る場合には、速やかにその価格以下となるようすべき」という入札監視委員会の答申（なお、後日入札監視委員会の場で「入札した場合の価格と比べて適正かどうか常にチェックし随時交渉を行うべき」という発言があった）を踏まえていない。近隣他市の電力調達に係る入札状況を見ると、非常に安価で落札され、経費削減につながっているが、本市では、前年度と同額での契約となっており、経費削減の機会を失っている。</p> <p>そこで、電力調達においては、競争性を発揮すべく、本来の手法である一般競争入札で執り行われたい。仮に、入札によらない場合でも、近隣他市の電力調達落札価格に比べて、同等の価格で契約するとともに、その契約価格の設定及び手続きの透明性を確保されたい。</p> <p>と全議員の総意で議決した。</p> <p>市の電力調達及びいこま市民パワー(株)事業のあり方について伺う。</p> <p>▼本年12月1日以降の公共施設の電力調達は、再度いこま市民パワー(株)との随意契約で進められたと聞く。その契約金額は平成29年時と比較し、どう変わったのか。</p> <p>▼その契約金額の設定あたり、どのような交渉が行われたのか。</p> <p>▼契約にあたり、どのような手続きで決裁が進められたのか。また前回契約の決裁手続きとの違いはなにか。</p>	

▼いこま市民パワー(株)の電源調達状況は現状どうなっており、その割合は今後どのように推移していく計画なのか。年度毎のスケジュールなど、具体的な説明を求める。

▼いこま市民パワー(株)の民間企業等との契約状況は現状どうなっており、今後どのように推移していく計画なのか。年度毎のスケジュールなど、具体的な説明を求める。また、当期純利益や雇用状況についても同様に説明を求める。

▼いこま市民パワー(株)の設立で、従業員の雇用に伴う可処分所得や市内事業者の純利益、市税収入の増加により、6年間で約1億8000万円、6年目の単年度では5400万円の地域経済付加価値が生み出される試算があるとの説明があったが、設立6年目の雇用状況や市内事業者純利益、市税収入の増加額はそれぞれどのような状況になっている試算なのか。

▼本事業の課題と今後の展望について、どのような見解なのか。

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成30年11月27日

生駒市議会議長

中谷 尚敬 様

生駒市議会議員

浜田 佳資



発言通告書

次のとおり通告します。

平成 30 年 11 月 27 日
午後 2 時 57 分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑 ・ <u>一般質問</u> (一括質問方式 ・ <u>一問一答方式</u>) ・ 緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	ごみ削減の総括と展望について
2	学校の部活動指導における改善の取組について
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑・質問事項
1	ごみ削減の総括と展望について
質疑・質問の要旨	
<p data-bbox="277 689 1374 817">本任期も残り少なくなり、今後の展望を考えるに際し、この間のごみ削減の到達をどう分析、評価しているのかを明らかにする必要があり、昨年12月議会の答弁も踏まえ、次の点についてお聞きします。</p> <ol data-bbox="277 831 1374 1301" style="list-style-type: none"> 1. 市長マニフェストの家庭系燃えるごみ25%減目標はどうなったのか。 2. 家庭系燃えるごみ削減は、28年度から横ばいが続いているが、この分析と評価はどうか。 3. 今後の目標達成のためにも、一定量無料型など大枠での見直しの検討が必要ではないか。横ばいが続いている状況をどのように打開するのか。 4. 事業系を含めた燃えるごみ半減の到達と分析、評価はどうか。 5. 市民、事業者の協力を得てごみ削減を進めるために、何が必要と考えているか。家庭系での上記3の点や、7リットルからより小さい袋例えば5リットルの袋への切換え、燃えないごみの小さい袋でのごみ集積所での収集、高齢者への支援などはどのように考えているか。 	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑・質問事項
2	学校の部活動指導における改善の取組について
質疑・質問の要旨	
<p>平成28年8月に中学生が、部活動中に熱中症により救急搬送され、その後お亡くなりになりました。</p> <p>29年4月に、市内中学生熱中症事故調査委員会の「市内中学生熱中症事故調査報告書」（以下「報告書」）が出され、事故の概要とともに課題の整理、再発防止に向けた提言等が書かれている。事故から2年以上が経過した今、その後の取組が十分なものとなっているか今一度考えることが必要と、次のことをお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その後の取組状況はどうか。 2. 「報告書」をどう活かすかは、熱中症対策に限らず、部活動全般の指導にわたって必要と考えるがどうか。 3. 上記2の指導を行うには、そのための研修が必要と考えるがどうか。 4. 教職員の働き方改革の取組との関係での課題と対策はどうか。 	

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

平成30年11月27日

生駒市議会議長

中谷尚敬様

生駒市議会議員

伊木 まり子



発言通告書

次のとおり通告します。

平成30年11月27日
午後2時58分 受領

発言の種類 (○を付ける)	質疑・ <u>一般質問</u> (一括質問方式・ <u>一問一答方式</u>)・緊急質問
番号	質疑・質問事項 (要旨は別紙参照)
1	ACP (アドバンス・ケア・プランニング) を念頭に置いた施策について
2	市民主体のまちづくりについて
3	
4	
5	

※質疑の場合は、議案名を記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
1	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を念頭に置いた施策について
質疑・質問の要旨	
<p>11月10日、たけまるホールでは生駒市と生駒市医療介護連携ネットワーク協議会が主催し、厚生労働省近畿厚生局と奈良県の後援により、地域包括ケア推進大会「人生100年時代あなたはどのように生きていきますか」が開催されました。午前中は市内でいきいき百歳体操にとりくまれている方が集まり、1000人交流会が行われ、午後は『いつか迎えるその時のために ～家に居る選択、病院に行く選択～』と題した講演とパネルディスカッションからなる市民フォーラムが行われました。午前中の企画は最後まで健康でいきいきと暮らせるようにいきいき百歳体操を広めようということかと思いましたが、午後の企画については在宅医療の推進を目的としたものか、在宅看取りの推進を目的としたものか、私はその意図を図りかねました。</p> <p>国は在宅医療を推進していく方針で、今年3月に策定された第7次奈良県保健医療計画においても、在宅医療の充実が掲げられています。しかし、在宅医療や在宅看取りについて、どのようにすれば在宅医療を受けられるのか、自宅で最期を迎えたいが家族に負担がかかるのではないかと、家族も自宅で看取りたいがそのような場面にどのように対応したらよいか、そんなさまざま不安があったり、実際、自宅で看取ろうと決めていたが、急変し救急車で病院に搬送され、長期にわたり生命維持のための処置を受け病院で看取られた方がおられたりと、市民の中には戸惑い、判断に苦慮されている人が多いと思われます。</p> <p>一方、厚生労働省は平成27年3月、それまでの「終末期医療」を「人生の最終段階における医療」と名称を変更しました。また、本年3月、地域包括ケアシステム構築推進の現状を踏まえ、諸外国で進められているACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス）の概念を盛り込む形で「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」が改定されました。さらに、本年9月、厚生労働省はACPを広めようと愛称を募集、月末に愛称が決定します。このような背景の基、以下について質問します。</p> <p>① 市民フォーラム『いつか迎えるその時のために ～家に居る選択、病院に行く選択～』について</p> <p>フォーラムの目的、参加者の評価や声、フォーラムから見えてきた課題、今後の取組などについてお聞かせください。</p>	

②ACP とリビング・ウィルの関係をどのように受け止めておられるかお聞かせください。

③ACP の施策への活用・展開について

保健、医療、介護、福祉、医療費適正化の観点を中心にお答えください。

※質疑・質問の要旨は具体的に記入すること。

番号	質疑 ・ 質問事項
2	市民主体のまちづくりについて
質疑・質問の要旨	
<p>現在、第6次総合計画策定に向けた取組が進められています。その中でまちづくり推進における基本的な3つの考え方が示されています。1つ目は市民主体のまちづくり、2つ目は自助・共助・公助、3つ目は多様な主体との協創によるまちづくりです。また、生駒市自治基本条例では第3章市民の権利と責務第7条 まちづくり参画の権利 第1項において「市民は、まちづくりの主体であり、まちづくりに参画する権利を有する」とあり、第7章市民参画、市民自治及び情報 第42条市民自治に関する自治体の役割 第1項において、「市は市民が自主的かつ主体的に行う市民自治活動を尊重しなければならない」とあります。“市民主体”はまちづくりのキーワードといえます。</p> <p>市民主体のまちづくりに関連して、下記について質問します。</p> <p>①ききみみポストについて これまでにききみみポストに寄せられた意見はどのようなものでしたか。重ねて、廃止の理由についてもお聞かせください。</p> <p>②市と自治会との関係にかかる住民監査請求、生駒市監査委員告示第6号（平成30年5月11日）補足意見について 「市においては、市と自治会、市と自治連合会の関係は当然のこととして他の任意団体との関係も含め、行政と市民との協働のあり方につき、幅広い視点から今後とも継続的に検討されることを望む」とあるが、どのように受け止め、どのように検討していく予定でしょうか？</p>	